

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：031856106

病院施設番号：031856

臨床研修病院の名称：南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター

臨床研修病院群番号：0318561

臨床研修病院群名：南奈良総合医療センター病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	南奈良総合医療センター臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色	南奈良総合医療センター（以下、当院）は奈良県大淀町にあり、二次保健医療圏域は南和医療圏に属する。南和医療圏は奈良県総面積の約 60%以上と広大であるが、人口は県全体の約 5%と過疎地域である。高齢化率は約 40%と全国平均より約 10%も高く、まさに 20 年後の日本を先取りする人口構成である。当院はこの医療圏における唯一の公的急性期病院であり、救急告示病院（二次救急）、地域医療支援病院、在宅療養後方支援病院、地域がん診療病院、地域災害拠点病院、へき地医療拠点病院という数多くの役割を担っている。 当院の研修プログラムの大きな特色として以下の 3 つが挙げられる。 ① <u>病院として在宅診療を行っている</u> 年間約 2,600 件の訪問診療と年間約 70 件の在宅看取りも行っている。3 名の在宅専任看護師が在籍し、在宅主治医とともにチームとして精力的に活動している。末期がん、神経難病、末期心不全、認知症など多様な疾患を有する患者を、家族や地域住民、地域のケアスタッフと密に連携を取りながら共に支え、住み慣れた自宅で最期を迎えられるようサポートしている。当プログラムでは在宅研修を必須としており、研修医は在宅担当医として地域包括ケアの現場に主体的に関わることが出来る。 ② <u>県内屈指の救急搬送件数を有している</u> 奈良県ドクターヘリの基地病院として奈良県全体の救急医療に貢献するとともに、南和地域の救急・プライマリケアの担い手として南和地域の救急を一手に引き受けている。日中は救急科医師 4 名と内科医師 3 名が救急センターに常駐し、夜間は内科・外科併せて 3 名の当直医体制で、24 時間 365 日、救急医療を提供している。令和 6 年度の救急車受入件数は約 4,600 件、ウォークインを含む救急件数は約 14,000 件と、県下でも有数の救急件数を誇り、高齢者救急を含めたコモンディジーズの宝庫といえる。当プログラムの救急部門研修は、4 週間のブロック研修と週に 1 日のカリキュラム研修に分けている。救急・プライマリケア診療に約 1 年間にわたって継続的に携わることができ、質の高い技術や知識と、思いやりのある態度を身に付けることができる。 ③ <u>南和広域医療企業団内に回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟・療養病棟があり、さらに積極的な病診連携を行っており、多様な診療の場で様々なフェーズの医療に関わることができる。</u>

	当院は回復期リハビリテーション病棟を有し、当院の母体である南和広域医療企業団には吉野病院と五條病院という亜急性期・慢性期医療を提供できる病院が所属する。また、当院のへき地医療支援センターでは、テレビ会議システムテレビ会議システム及び電子カルテ共有システムにより、南和地域の 8 つのへき地診療所と濃密な連携体制をとっている。さらに地域の保健所と協力し、地域の薬剤師や訪問看護師との合同カンファや介護施設での合同感染対策などの予防医療、及び退院後の生活サポート等にも積極的に関与している。 これらのフィールドをもとに、疾患予防対策や健康増進など地域における保健・医療・福祉の連携と公衆衛生事業を学び、日常診療・急性期・回復期・慢性期・看取りといったシームレスな地域医療を経験することで、南和医療圏での地域医療並びに地域包括ケア体制を有機的かつ効率的に経験し学ぶことができる。これはまさに、日本が直面する高齢化社会、2025 年問題などに立ち向かう医者を育てることにほかならず、当院の臨床研修プログラムが南和の、そして将来の日本の医療に貢献できるものと確信している。
3. 臨床研修の目標の概要	厚生労働省の定める到達目標を高い水準で習得することはもちろんのこと、きたるべき高齢化社会の進行にも対応できる能力を備え、単なる医療知識や医療技術のみならず、患者の心理・社会的背景を踏まえたうえで、病気を抱えながらも最期まで住み慣れた地域で生きることがサポートできる医師を育てることが目標である。救急を中心とする豊富な症例数により、臨床研修医が身に付けるべき急性期医療やプライマリケアの基本を無理なく習得することができる。過疎化が進み高齢化率の高い南和地域における医療は、地域包括ケアの実践において学びの宝庫である。患者背景を鑑みた医療の実践や、多職種連携により住民の日常生活をサポートする能力を、指導医のもとで身に付けることができる。この知識・技術・態度は、将来の専攻科に関わらず医師として普遍的に身に付けるべき素養であると考えており、人格の涵養も含め、2 年間を通じて継続的に教育が施される。 当院は 232 床と臨床研修病院としては比較的コンパクトであり、全職種と顔の見える関係が構築されている。また、受け入れ予定研修医数が年間 4 名と少数精鋭であるため、主体的できめ細やかな臨床研修を受けることができる。前身の県立五條病院時代を含め、いままで多数の地域医療研修での研修医を受け入れてきた経験もあり、約 70 名の医師はもちろんのこと、看護師、医療技術者、事務職、その他院内全職員を挙げて病院全体で研修医を育てるという素地が出来上がっている。 南和広域医療企業団と南奈良総合医療センター共通の基本理念である「南和の医療は南和で守る」に則り、南和地域まるごと全体を用いて臨床研修を提供し、南和医療圏・奈良県の地域医療を中心に、地域住民に貢献できる医師を育てていく所存である。

4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 当院は基本領域では「総合診療専門研修プログラム」を有する基幹施設で有り、またサブスペシャリティ領域では「新家庭医療専門研修プログラム」、「在宅医療研修プログラム」、「病院総合診療専門研修プログラム」、「地域総合診療専門医研修プログラム」を有しており、これらの専門研修プログラムに応募することで研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能である。			
5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	0 3 1 8 5 6	南奈良総合医療センター	26.0 週	4.0 週
	救急部門	0 3 1 8 5 6	南奈良総合医療センター	14.4 週	
	地域医療	0 3 1 8 5 6 1 8 8 8 6 9 1 8 8 8 7 0 1 8 8 8 7 3	南奈良総合医療センター 南和広域医療企業団吉野病院 南和広域医療企業団五條病院 十津川村国民健康保険小原診療所	8.0 週	一般外来 1.0 週 在宅診療 1.0 週
	外科	0 3 1 8 5 6	南奈良総合医療センター	9.6 週	週
	小児科	0 3 1 8 5 6 0 3 0 5 8 2 0 3 0 5 8 4	南奈良総合医療センター 奈良県総合医療センター 奈良県西和医療センター	5.0 週	1.0 週
	産婦人科	0 3 1 8 5 6 0 3 0 5 8 6	南奈良総合医療センター 奈良県立医科大学附属病院	5.0 週	
	精神科	0 3 0 5 8 6 0 3 1 8 5 1	奈良県立医科大学附属病院 医療法人鴻池会秋津鴻池病院	5.0 週	
	一般外来			6.0 週	
	病院で 定めた 必修 科目			週	
			週		
			週		
			週		
選択科目	各科	0 3 1 8 5 6 0 3 0 5 8 6 0 3 0 5 8 2 0 3 0 5 8 4	南奈良総合医療センター 奈良県立医科大学附属病院 奈良県総合医療センター 奈良県西和医療センター	26.0 週	
備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 59 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約 0 回 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科、小児科、地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること					

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 031856	臨床研修病院の名称：南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 0318561	臨床研修病院群名：南奈良総合医療センター病院群

6. 研修スケジュール

（一年次）二年次：いずれかに○）

プログラム番号 031856106

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野＊2	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
南奈良総合医療センター	内科	3 3 3 3	3 3 3 3	1 1 1 1	1 1 1 1		3	1	1 1	1 1 1 1	1 1 1 3	1 1 1 1	2 2 2 3	2 2 2 2
	外科			1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1					1 1 1 1		1 1 1 1
	救急部門			1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2	1 1 1 1	1 1 1 1						
	産婦人科						1 1 1	1 1		1 1				
奈良県立医科大学附属病院	産婦人科							1 1 1		1 1 1		1 1 1		
奈良県総合医療センター	小児科								1 1 1	1 1 1 1	1 1 1		1 1 1 1	
南奈良総合医療センター	選択科目						1 1	1 1				1 1		

＊1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

＊2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 031856	臨床研修病院の名称：南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 0318561	臨床研修病院群名：南奈良総合医療センター病院群

6. 研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号 031856106

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 2)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修 分野 ＊ 2	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
南奈良総合医療センター	内科	4 4 4	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	4 1 1	1 1 1	1 1 1		1 1 1	1 1 1 4	1 1 1 1	2 2 2 2	2 1 1
	外科	1 1 1				1 1	1 1 1							1 1 1 1
奈良県立医科大学附属病院	小児科	1 1 1 1 1			1 1 1 1									
奈良県総合医療センター	小児科			1 1 1	1 1	1 1 1 1 1								
奈良県立医科大学附属病院	精神科						1 1 1 1 1		1 1 1	1 1 1 1	1 1 1			
秋津鴻池病院	精神科									1 1	1 1 1			
南奈良総合医療センター	地域医療				1 1 1		1 1 1	1 1 1			1	1 1		
吉野病院	地域医療						1 1 1 1 1	1 1	1 1	1 1				
五條病院	地域医療						1 1 1	1 1	1 1	1 1				
十津川村小原診療所	地域医療						1	1		1				1
南奈良総合医療センター	選択科目							1 1 1				1 1 2 2		1 1 2 2
奈良県立医科大学附属病院	選択科目	2 2 2 2 2 3 2 2 2				1 1 1 1				1 1	1 1			
奈良県総合医療センター	選択科目				1 1 1 1				1 1 1 1			1 1 1 1	2 2 2 2	

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。